



# PRESS RELEASE

Digital Hollywood 2011  
<http://www.dhw.co.jp>

報道関係者各位

2011 年 8 月 23 日 (火)

## デジタルハリウッド

米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭

『ショートショート フィルムフェスティバル & アジア』とコラボレーション



×



SSFF & ASIA 2011 の「CG プログラム」に続き、

**2012 年開催より「CG 部門」を設立、エントリー受付開始**

**～世界基準の CG クリエイターの養成と輩出の実現を目指す～**

IT 関連及びデジタルコンテンツの人材養成スクール・大学・大学院を運営するデジタルハリウッド株式会社(本校/本社:東京都千代田区、代表取締役社長兼 CEO:古賀鉄也、学長:杉山知之)は、米国アカデミー賞公認、アジア最大級の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)」(企画運営:株式会社パシフィックボイス、以下 PV 社)と、昨年からの業務提携を経て、この度、映画祭初となる【CG 部門】を設立、8 月 1 日よりエントリーを開始しました。

今年開催された SSFF & ASIA 2011 では、コラボレーション第一弾となる「CG プログラム」を上映、最新の CG 技術を駆使したアカデミー賞短編アニメーション部門受賞作品を含む、世界の CG 作品を上映いたしました。

2012 年の本映画祭においては、その技術の高さについて世界的にも高く評価を得ている、CG クリエイターの才能発信を行なうべく、また、日本国内のみならず世界各国からも幅広く、フル CG アニメーションの作品を募集します。

本映画祭は、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受けており、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。

CG 部門においても、オフィシャルコンペティション(ジャパン部門)へのダブルエントリーを行うことで、アカデミー賞へのノミネートの可能性が拓けております。

<CG 部門について>

[http://www.shortshorts.org/2012\\_call\\_for\\_entry/ja/cg.html](http://www.shortshorts.org/2012_call_for_entry/ja/cg.html)

応募開始:2011 年 8 月 1 日～

応募締切:2012 年 1 月 16 日



# PRESS RELEASE

Digital Hollywood 2011  
http://www.dhw.co.jp

## ●ガイドライン(応募資格)

下記の全ての条件を満たしている必要があります。

一つでも満たしていない項目がある場合は、選考対象外となります。

### 1. フル CG アニメーション作品であること:

制作のすべてが CG などのコンピューター技術によって作られたアニメーション作品に限ります。  
作品のストーリー性に加え、CGの特性を活かした表現の新しさ、視覚演出などの技術を審査対象とします。

### 2. ジャパンプレミア:

ジャパンプレミア(日本初上映)は問いません。

### 3. 尺:

25 分以内 (エンドクレジット含む)

### 4. 制作年:

2010 年 6 月以降に制作された作品。

※作品エンドクレジットに表記されたコピーライトの年度を、基本その作品の制作年度とします。

したがって、製作や諸準備が多年度にまたがった場合、最終的に作品制作が完了した時点をもって制作年度とする。

### 5. ジャンル:

ジャンルは問わず、ただしフル CG アニメーション作品に限る。

### 6. 国籍:

全ての国の作品対象

### 7. フォーマット:

全フォーマット対象。ただし 16:9 の画格で制作された作品のみ。応募は DVD にて受け付けます。  
動画ファイルの場合は、Windows Media Player/Quick Time Player で再生可能である事。ビデオ形式も可。

(作品が入選された場合には、応募作品の NTSC HDCAM、HDV、Digi-Betacam、DV-CAM、もしくは Mini-DV テープをご提出いただきます)

### 8. 言語

英語と日本語以外の言語による作品は、オリジナル言語の対訳の英語字幕をつけて下さい。

## ●応募方法:

### 1. オンライン応募フォームを、全項目記入のうえ送信してください。

1 作品以上を同時に応募する場合は、各作品をそれぞれ別の応募フォームにご記入してください。

### 2. 応募作品 DVD と応募確認書のコピーを発送

- ・ 応募 DVD は返却されませんので、予めご了承下さい。
- ・ 未完成作品は選考外とします。
- ・ 1 作品以上応募される場合、全ての作品を 1 枚の DVD にまとめた応募も構いませんが、必ず各作品名を分かり易くラベルに明記して下さい。



# PRESS RELEASE

Digital Hollywood 2011  
http://www.dhw.co.jp

※ 応募 DVD 発送の際に、プレスキットやその他関連資料は同封しないでください。

応募フォーム以外の資料は破棄されます。

※ 作品応募の発送費は、応募者のご負担となります。

## <CGプログラム 開催レポート>

2011 年の開催概要 : <http://www.shortshorts.org/2011/ja/outline/cg-outline.html>

CG プログラム上映作品 : <http://www.shortshorts.org/2011/ja/special/cg.html>

2011 年 6 月 16 日～26 日に開催されたショートショートフィルムフェスティバル & アジア 2011 では、映画祭とデジタルハリウッドのタイアップした「CG プログラム」を上映。世界基準のフル CG 映像の数々が紹介されました。

映画祭では、デジタルハリウッド大学院 4 期生の古新舜監督の最新短編作「わかれもの」が NEO 部門にノミネート。今回で 4 度めとなるノミネートということで今後の活躍にも期待がかかります。

本映画祭では、東日本大震災へのチャリティ企画として、俳優・佐藤浩市さん協力のもと製作されたチャリティーショートフィルム「GET UP」が上映され、この映像の監督を務めたのが、デジタルハリウッド横浜校卒業生・デジタルハリウッド大学院 2 期生の大森清一郎さんでした。

また、最終日に行われた『アワードセレモニー』のオープニングアクトでは、今年話題の「KAGEMU」がパフォーマンスを披露。この映像制作もデジタルハリウッド八王子校卒業生のハナブサノユキさんが担当するなど、卒業生の活躍を多く感じられた映画祭となりました。



☆写真左：大森清一郎さん、中央：ハナブサノユキさん、右：CG プログラム・トークセッションの様子

## 【ショートショート フィルムフェスティバル & アジア】

<http://www.shortshorts.org/>

米国アカデミー賞公認、日本発アジア最大級の国際短編映画祭。

1999 年、東京原宿で映像王国ハリウッドに集まったショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートして以来、有名監督の初期短編映画や、若手映像作家が産み出した作品など、毎年 4000 本以上にも及ぶ作品が、世界 50 以上の国や地域からよせられ、のべ 25 万人を動員するイベントです。これまでにロサンゼルス、シンガポール、ミャンマーなどでも開催され、2010 年にはマレーシア、台湾でも開催。「日本生まれ」の映画祭が海外に展開される「ユニークな映画祭」として注目を集めています。





# PRESS RELEASE

Digital Hollywood 2011  
http://www.dhw.co.jp

2004 年には、米国アカデミー賞の公認映画祭として認定を受け、本映画祭でグランプリを獲得した作品は、次年度米国アカデミー賞のノミネート対象となります。また同年 10 月、石原慎太郎都知事の提案の下、「東京都を拠点とするアジア映像文化のショーケースを設ける映画祭」として「ショートショート フィルムフェスティバル アジア」を「ショートショート フィルムフェスティバル(SSFF)」の兄弟映画祭として開催。日本で初めての、アジア諸国のショートフィルムを紹介する映画祭としてスタートしました。現在は、「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」として、毎年同時開催を行っています。

## 【デジタルハリウッド】

<http://www.dhw.co.jp/>

1994年、日本初の実践的産学協同のクリエイター養成スクールを設立。

現在、東京（御茶ノ水）、渋谷、大阪、福岡で4校の専門スクールと、eラーニングによる通信講座（オンラインスクール）を展開、設立以来、約5万人以上の卒業生を輩出（2011年4月現在）。

設立10周年を迎えた2004年4月、日本初、株式会社によるIT・コンテンツ分野の高度人材育成機関「デジタルハリウッド大学院（専門職）」、2005年4月には、ITビジネス×クリエイティブ×英語＆留学を学ぶ「デジタルハリウッド大学」を開学。デジタルコンテンツ業界の人材育成と、産業インキュベーションに力を注ぐ。2014年10月に設立20周年を迎える。

## 【プレスリリースに関するお問い合わせ】

デジタルハリウッド株式会社 広報室：川村

mail: [press@dhw.co.jp](mailto:press@dhw.co.jp)

TEL: 03-5281-9248

-----  
デジタルハリウッド公式サイト : <http://www.dhw.co.jp/>

学長ブログ「スギヤマスタイル」: <http://www.facebook.com/SugiyamaStyle>

過去のプレスリリース: <http://www.dhw.co.jp/pr/release/>  
-----